

「岡山・倉敷・福山圏域における都市圏並びに都市圏間のネットワーク形成に関する調査」結果について

一般社団法人中国経済連合会（会長 荻田知英）は、中国電力株式会社（社長 清水希茂）ならびに公益社団法人中国地方総合研究センター（会長 平野正樹）と共同で、岡山・倉敷・福山都市圏並びに都市圏間のネットワーク形成に関する調査を実施しました。この度、同調査の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【調査の目的】

岡山・倉敷・福山都市圏において広域的に活動する地域企業に対し、同都市圏並びに都市圏間のネットワーク形成に関わる意識を調査し、同地域における広域連携や都市機能の強化、交通基盤等の整備促進に向けた方向性を検討する。

【調査の実施要領】

- ・調査方法：平成29年10月 アンケート形式による調査を実施
- ・調査対象：岡山・倉敷・福山に事業所を置く企業2,503社(回答事業所:545件, 回収率22.3%)

【主な調査結果】

- ・調査対象とした岡山、倉敷、福山の3都市圏において、以下の点が確認された。
 - 1.各都市圏には企業活動に好影響を与える事業環境があり、しっかりとした都市圏が形成されている。
 - 2.中でも岡山・倉敷間では、企業間取引関係等の事業環境が、相互の都市圏形成に好影響を及ぼし合っている。
 - 3.人材確保、都市型サービス、国内外への交通基盤等の都市機能では岡山都市圏が優っており、当該機能に対する倉敷から岡山へのアクセス向上は、両都市圏の企業活動にとって重要である。
 - 4.各都市圏で広域的に活動する企業は「地域意識」が高く、都市圏形成に好影響を及ぼしている。
- ・岡山・倉敷の間では、「産業・企業の繋がりの強化を推進すべき」との期待が大きいですが、それが実現されていないと考えている企業も多い。その背景として、岡山・倉敷間における「交通混雑」が両都市機能に対するアクセス性を低下させ、都市圏発展を阻害している可能性がある。
- ・これらの調査結果を踏まえた、今後の同都市圏整備の取組の主な方向性は以下のとおり。
 - ① 都市間交通の強化、② 企業間交流の強化、③ 多面的連携の展開

〔別添〕「岡山・倉敷・福山圏域における都市圏並びに都市圏間のネットワーク形成に関する調査－結果概要－」

本調査結果は、今後、国・地方の行政機関等への提言・意見に反映するとともに、当連合会の事業活動に活用してまいります。

（お知らせ）

- ・本調査結果は当連合会のホームページに掲載しています。
URL:中国経済連合会トッパー提言・要望・報告
- ・調査内容に関するご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。
中国経済連合会(担当:高見、新田 TEL:082-242-4511 FAX:082-245-8305)